



中国・四国ブロック聴覚 障害者情報提供施設会議

11月29日(木) 於 岡山県聴覚障害者センター

平成30年7月豪雨をうけ、中国・四国地区の情報提供施設における災害対策の現状及び課題について会議を持ちました。災害時には初動が大切です。災害発生時のセンター職員の役割、利用者の安否確認の方法等早急にマニュアルを作成する必要があります。また、帰宅困難者が出ることに備え、水や食料、寝袋等をセンターに備蓄することも必要になっています。(松岡)

字幕ボランティア研修会

1月10日(木)13:00~16:00 参加者7人

最初に講師の挨拶を撮影して後半の字幕体験の材料にすると伝えました。その後センターの行事の字幕



付きDVDを観賞して感想を聞きました。体操教室での音楽付きDVDの映像は、字幕のイメージが違うとの声がありました。その後の字幕入れの作業では入力にかなり手間取りましたがDVDが完成して観るとみんな笑顔になりました。(石岡)

ボランティア交流会

1月13日(日)13:30~15:00 参加者8人

聴障センターまつりの反省会を兼ねて開催しました。難聴者2人の参加がありました。今年度はまつりの前にボランティア交流会がなかったので、依頼書はもらったが当日までどこの担当で何をしたらよいのか、よくわからなかったとの意見がありました。センターのボランティア規程を作ったので配布しました。(石岡)

作品展 12月15日~1月12日

センターまつりを皮切りに4週間開催しました。去年よりも多い30人の申し込みを頂き、90点もの作品を展示することが出来ました。写真や絵画、編み物やデコパージュなど多種多様な作品が揃い来場者を楽しませていました。(福尾)



聴覚障害者向け

ソフト制作担当職員研修会

11月15日(木)~17日(土)

於 長崎県聴覚障害者情報センター 参加者35名

初日は「DAISYの取り組み-手話動画同期やIPTVなど今後の関わり」をテーマにNPO法人支援技術開発機構副理事長河村宏氏より、障害のある人のためにデジタル録音図書の作成を著作者の許諾なく行えるようにする条約「マラケシュ条約 37条」と「著作権法」に関する話がありました。2日目は長崎県からYouTubeとgoogle mapと手話動画を連動させ、観光マップ作成の報告がありました。その後基礎コースと応用コースに分かれて持ち寄った映像、当センターからは体操教室の音楽付きDVDを持参しました。歌詞はカラオケのように1文字ずつ色が変わっていく方法もあるなど、この映像では何が伝えたいのかポイントをしぼることが大切だと、貴重な意見とアドバイスをいただきました。最終日は5グループに分かれて今後のICTの活用についての討議のあと発表がありました。(石岡)

電話リレーサービス普及啓発

のための学習会

11月23日(金・祝)13:00~16:30

於 鹿児島県市町村自治会館 参加者56名



鹿児島県聴覚障害者協会副会長兼事務局長の寿福氏のご挨拶に始まり、筑波技術大学の井上准教授のご講演、日本財団によるモデルプロジェクトについての説明等がありました。デモンストレーション「手話」による体験では①レストランの予約②病院の予約を実際に行いました。もっと多くの人たちに「電話リレーサービス」を理解していただくには、広島でも学習会を設けることが必要ではないかと思いました。(鈴木)